

DTP製品と一体型データ変換ソフト



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

◆概要

各種 DTP データを必要なファイルフォーマット(長尺ラスタ(イメージ))へ変換します。
出力フォーマットの詳細につきましては別頁に記載します。

入力対応 DTP データ

アプリケーション	対応バージョン	ファイル種類(拡張子)
Microsoft Office Word	2000/XP/2003/2007	doc, rtf, dot, txt, docx, dotx
Microsoft Office Excel	2000/XP/2003/2007	xls, xlw, xjs, csv, xlt, xlsx, xltx
Microsoft Office PowerPoint	2000/XP/2003/2007	ppt, pps, pot, pptx
Microsoft Project	2002/2003/2007	mpp, mpt
Microsoft Visio	2000/2002/2003/2007	vst, vss
Adobe Acrobat	5.0/6.0/7.0/8/9	pdf
DocuWorks (FujiXerox)	/5.0/6.0/6.2/7.0	xdw, xbd
標準ブラウザ(印刷機能が必要)		html, xml

※上記バージョン以外のファイルについては正式に対応していません。

◆特徴

- ・弊社製品 **KDdriver_long for Windows** 長尺版を使用する事によって、長尺版入力データを変換する事が可能です。
- ・Windows プリンタドライバ(弊社製品 **KDdriver_long for Windows**)を経由することによって高品質なラスタデータ(モノクロ、カラー選択可能)に変換する事が可能です。
出力するラスタフォーマット形式にカラー機能が無いものは、入力がカラーデータでもモノクロになります。
また、任意の解像度に変換することもできます。
- ・コマンドライン形式(DOS 操作)、GUI 形式(画面操作)の双方をサポートしたアプリケーションになっており、一つの製品で両形式使用する事が可能です。
- ・システムへの組み込みや、標準機能としてバッチファイルを利用したデレクトリ単位の一括変換が可能です。
- ・オプション製品と組み合わせることによって指定フォルダにデータを送るだけであらかじめ設定された DTP から各種サポートフォーマットへ自動的に変換をおこなう自動監視付き変換等が可能です。

◆注意事項

- ・アプリケーションの印刷機能を利用してファイルを作成するため変換するファイルのアプリケーションが必要になります。
- ・出力に関するデータ処理はすべてアプリケーションに依存します。Microsoft Office でマクロ命令を利用して画面にダイアログメッセージを出力し停止するような場合やセキュリティ機能によりパスワードを求めるダイアログメッセージを出力し停止するようなデータ等は変換ソフトもその時点で停止するので注意していただく必要があります。
- ・DTP 製品と一体型ソフトは WindowsOS の種類によって別製品になります。
WindowsOS ごとにプログラムが異なるため、ユーザがインストールする環境の OS に合った製品を購入していただく必要があります。
- ・PDF ファイルの用紙サイズをそのままにラスタ変換するには、別途、Adobe Acrobat(有償)または Adobe Reader6.0 以降(無償)が必要となります。
Adobe Acrobat 使用ユーザは Adobe ライセンス規約に準拠する必要があります。
PDF ファイルの用紙サイズを反映しない場合、Adobe Acrobat(有償)は必要ありません。
Acrobat Reader(無償)があれば変換することが可能です。出力サイズはプログラムの設定に依存します。

◆製品構成

製品名	概要	定価 (税抜き)
DTPTORSL	各種 DTP データをイメージ(ラスター)データへ変換します。 Acrobat6.0からの新機能を利用して Adobe Reader6.0(無償)で 元の用紙サイズでラスターファイルに変換する事が可能です。	45 万円
DTP2RSL	DTPTORSL に PDF の用紙サイズを自動認識して元の用紙サイズで ラスターファイルに変換する機能を追加した製品です。	50 万円

※ Adobe Acrobat の使用ユーザは各メーカーのライセンス規約に準拠する必要があります。

◆動作環境

対応 OS : Windows2000、WindowsXP、Windows Server 2003、WindowsVista

◆対応表

製品名	ラスター 出力	PDF 用紙 サイズ反映	PDF 出力
DTPTORSL	○	○	△
DTP2RSL	○	○	△

※PDF 出力の項目で△はイメージ化された PDF の出力を意味しています。

◆DTP2RS と DTP2RSL の違い

◇長尺ドライバを利用しており、長尺サイズ図面の変換が可能です。

長尺ドライバの違い

- ・ 32000 ドット以上の出力が可能です。
(最大ドット数はマシンの環境やアプリケーションソフトに依存します。)
- ・ カラー・モノクロ両方のデータを作成できます。
- ・ 任意の解像度で出力が行えます。
- ・ 設定ファイルが存在していません。
全て他のプリンタドライバと同様にレジストリに保持されています。
- ・ 設定は全てプリンタの設定で行います。
ポートの構成には何もありません。
- ・ PDF 出力時のみ、文字コード出力が可能。(文字検索が可能)
- ・ 用紙サイズの自動判定による出力サイズ・方向の指定機能が KDdriver_long にはありません。

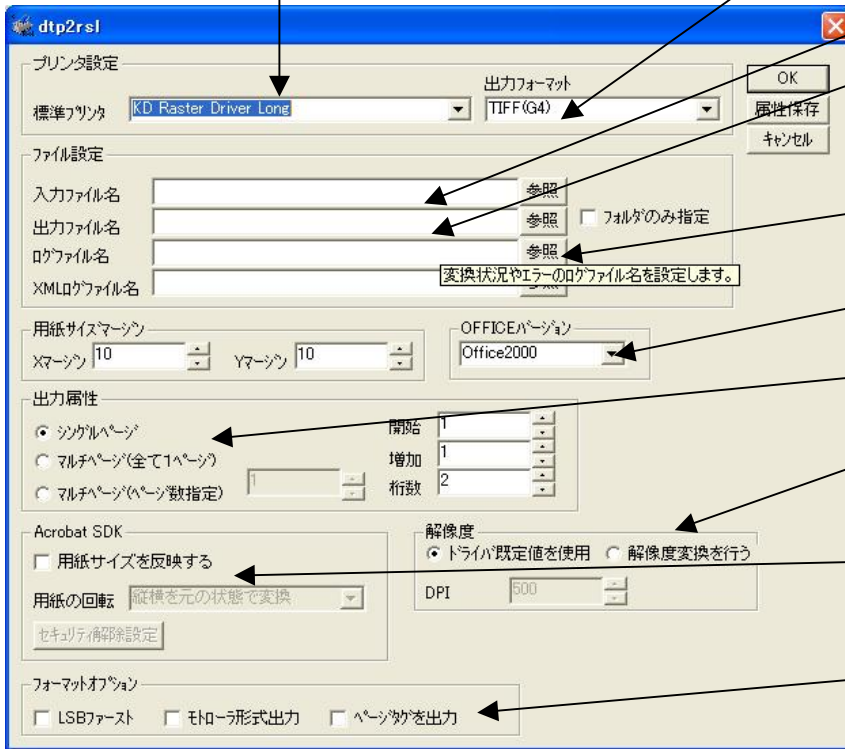
GUI 操作基本画面

プリンタドライバ名

使用可能なドライバー一覧がコンボボックスに設定されています。製品に付属しているプリンタドライバ、または指定されたプリンタドライバを設定します。

出力フォーマット

出力するフォーマットを選択します。



入力ファイル名
出力ファイル名
ログファイル名

参照ボタン

(ファイルダイアログで指定)

変換する OFFICE のバージョンの指定

シングル/マルチページ出力選択

解像度指定

PDF データの指定

PDF ファイルを変換する場合、用紙サイズの反映、セキュリティ解除についての設定をおこないます。

フォーマットオプション

出力フォーマットが Tiff の場合、ファイルオプションを指定します。

◆GUI からの操作

- ・プログラムを起動すると上記 GUI が表示されます。変換に必要な情報を各項目に設定していきます。
- 設定後、実行(OK ボタンを押す)すると変換が開始されます。処理が終了すると、設定内容にしたがった変換結果(ファイル)が出力されます。
- ・各項目の情報は保存され次回の変換にそのまま使用することができます。
- ・各製品により機能が異なるため、GUI の表示や使用できる項目に若干の違いがあります。

コマンドライン基本操作

基本操作はDOSプロンプトより変換する入力ファイル名、出力ファイル名、変換に関する各種設定情報を入力して実行し、変換をおこないます。ここではDTP2RSLを使用した例を挙げます。

基本形の例) DTPファイル「Sample_file.doc」を変換ファイル「raster.tif」に出力します。

・コマンドライン入力と画面表示

```
>DTP2RSL sample_file.doc -Oraster.tif  
>
```

(各パラメータについて)

DTP2RSL	:	実行ファイル名
Sample_file.doc	:	変換元ファイル名 (入力に対応しているDTPデータ)
-O	:	出力ファイルを指定するオプションパラメータ
raster.tif	:	出力ファイル名

【DTP2RSLのコマンドラインからの操作における標準仕様】

- ・変換に関する各種設定(出力フォーマット、シングル/マルチ化、解像度、等)は属性ファイルでおこないます。属性ファイルとはテキスト形式のファイルです。そのテキスト形式のファイルに変換に関する各種設定情報を弊社で決められた項目に従って記述します。属性ファイル(テキスト形式のファイル)の編集の代わりにGUI(画面)から設定をおこなうこともできます。
- ・使用するプログラムについてはカレントディレクトリ(作業フォルダ)に対して相対/絶対パスで指定することができます。プログラムをインストールしたディレクトリで作業する場合、パス名を省略できます。変換元ファイル(入力ファイル)、出力ファイル、属性ファイル、ログファイルについても同様の扱いとなります。
- ・相対/絶対パスを指定する場合においてパス名に空白(スペース)がある場合には、“” (ダブルコーテーション)を使用してください。
- ・「-O」は出力ファイル名を指定するオプションパラメータです。マイナス記号とアルファベットの「オー」です。大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。また、「-O」と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。その他のオプションパラメータについても同様に扱います。
- ・変換前のファイル名と変換後のファイル名に同じ名前を指定することはできません。
- ・エラー情報や変換状況をカレントフォルダ(作業フォルダ)にログファイル名「err.log」で自動的に出力します。

例 1) 絶対パスを使用して任意の変換元ファイル「c:¥test¥infile¥Sample_file2. pdf」を出力ファイル「c:¥test¥outfile¥raster2. tif」に変換し出力します。

```
>DTP2RSL "c:¥test¥infile¥Sample_file2. pdf" -O"c:¥test¥outfile¥raster2. tif"  
>
```

例 2) 任意の属性ファイルを使用し Sample_file3. pdf を raster3. tif ファイルに変換し、任意のログファイルにエラー情報や変換状況を出力します。

```
>DTP2RSL Sample_file3. pdf -Oraster3. tif -U"c:¥test¥drv_in. atr" -LOG"c:¥log¥abcd. log"  
>
```

(各パラメータについて)

「-U」 : 属性ファイルを指定します。(絶対パスを指定)
「-LOG」 : ログファイルを指定します。(絶対パスを指定)

例 3) アプリケーションのバージョン情報を出力する。

```
>DTP2RSL -QV -LOGVER. LOG  
>
```

(各パラメータについて)

「-QV」 + 「-LOG」 : 指定した VER. LOG にアプリケーションのバージョン情報を書き出します。

例 4) PDF ファイルの情報をファイル出力する。

```
>DTP2RSL data. pdf -QSjouhou. txt  
>
```

(各パラメータについて)

「-QS」 : 指定した jouhou. txt に PDF ファイル「data. pdf」に関する情報を書き出します。

例 5) バッチファイルからの実行。(フォルダ単位の拡張子による一括変換)

バッチファイルで記述された内容の処理を実行します。

複数のファイルやフォルダ内の全てのファイルを一括で変換する場合に使用します。

任意の名称(TEST. TXT) で以下のようにバッチファイル(テキスト形式)を作成します。

・バッチファイルの内容

```
C:¥TEST_1¥*. pdf -OC:¥OUT_1¥*. tif  
C:¥TEST_2¥*. doc -OC:¥OUT_2¥*. tif  
C:¥TEST_3¥*. xls -OC:¥OUT_3¥*. tif
```

C:¥TEST_1 に存在する拡張子が pdf のファイルをすべて拡張子を tif に変更したファイル名で変換します。

拡張子 doc、xls についても同様の処理になります。

処理の内容は同時に複数記述することができます。

・コマンドライン入力と画面表示

```
>DTP2RSL -batchTEST. TXT  
>
```

(各パラメータについて)

「-batch」 : フォルダ単位の一括変換をおこなうために使用します。

「-batch」で指定されたバッチファイル「TEST. TXT」の内容に従い処理をおこないます。

変換機能

主だった変換機能として以下の設定をおこなうことができます。これらの変換機能は GUI (画面) または属性ファイル (テキスト形式)、オプションパラメータから指定します。各製品により機能が異なるため使用できる項目に一部違いがあります。

- ・長尺サイズの入力データに対応しています。(長尺ドライバと称します。) 誤差範囲を任意指定し 0.1 単位の用紙サイズ認識が可能です。
例) 1.1A1 : 長手方向が 1.1 倍の用紙サイズ
A1 (594x840) 1.1A1 (594x924)
- ・シングルページ/マルチページ出力指定
- ・TIFF フォーマットオプション指定
- ・PDF 入力処理時、用紙サイズの自動認識指定
自動認識をする場合、入力データの用紙サイズを自動的に判別して出力データへ反映します。
自動認識をしない場合、設定されている用紙サイズで出力します。
- ・PDF 入力処理時、セキュリティの解除機能
- ・ログファイルの出力
- ・ページ分割の指定
- ・バッチ処理(フォルダ単位の拡張子による一括変換)
- ・ラスタフォーマット指定 (指定フォーマットによっては、モノクロ出力のみとなります。) 詳細については、次ページを参照願います。

既存の KDriver と長尺ドライバの出力対応ラスタフォーマット名一覧表 (○：出力可、×：出力不可)

長尺版 ドライバ	モノクロ ドライバ	カラー ドライバ	FAX ドライバ	フォーマット	補足説明
○	○	○	○	BMP (非圧縮)	
○	○	×	○	CALS (G4)	
○	○	×	○	EDMICS (MMR)	
○	○	×	○	EDMICS (RLC)	
○	○	○	○	EPSF	マルチページが可能
○	○	×	○	FAX (MMR)	
○	○	×	○	FAX (MR)	
○	○	×	○	FAX (MH)	
○	○	○	○	FX Raster (3色)	マルチページが可能
○	○	○	○	GIF	
○	○	○	○	HP-RTL (非圧縮 (line))	マルチページが可能
○	○	○	○	HP-RTL (非圧縮 (block))	マルチページが可能
○	○	○	○	HP-RTL (PackBits)	マルチページが可能
○	○	×	○	HP-RTL (MH)	マルチページが可能
○	○	×	○	HP-RTL (MR)	マルチページが可能
○	○	×	○	HP-RTL (MMR)	マルチページが可能
○	○	×	○	IOCA (非圧縮)	マルチページが可能
○	○	×	○	IOCA (IBM_MMR)	マルチページが可能
○	○	×	○	IOCA (G4)	マルチページが可能
○	○	○	○	JPEG (低品質)	フルカラーのみ
○	○	○	○	JPEG (中品質)	フルカラーのみ
○	○	○	○	JPEG (高品質)	フルカラーのみ
○	○	×	○	M1EL (MMR)	
○	×	○	×	PDF	マルチページが可能
×	○	×	○	PDF (MMR)	マルチページが可能
○	×	○	×	PDF (FLATE)	マルチページが可能
○	○	○	○	PNG16:PNG	
○	○	○	○	PostScript (Level1)	マルチページが可能 (非圧縮)
○	○	○	○	PostScript (非圧縮)	マルチページが可能 (Level2)
○	○	○	○	PostScript (RanLength)	マルチページが可能 (Level2)
○	○	×	○	PostScript (G4)	マルチページが可能 (Level2)
○	×	○	×	PostScript (JPEG: 低品質)	マルチページが可能 (Level2)
○	×	○	×	PostScript (JPEG: 中品質)	マルチページが可能 (Level2)
○	×	○	×	PostScript (JPEG: 高品質)	マルチページが可能 (Level2)
○	○	○	○	SunRaster (非圧縮)	
○	○	×	○	SunRaster (MMR)	
○	○	○	○	SunRaster (RLE)	
○	○	○	○	SVG (PNG)	マルチページが可能
○	×	○	×	SVG (JPEG: 低品質)	マルチページが可能
○	×	○	×	SVG (JPEG: 中品質)	マルチページが可能
○	×	○	×	SVG (JPEG: 高品質)	マルチページが可能
×	×	×	○	TIFF (ClassF: MH)	マルチページが可能
×	×	×	○	TIFF (ClassF: MR)	マルチページが可能
×	×	×	○	TIFF (ClassF: MMH)	マルチページが可能
○	○	○	○	TIFF (非圧縮)	マルチページが可能
○	○	○	○	TIFF (PackBits)	マルチページが可能
○	○	×	○	TIFF (G3_1D)	マルチページが可能
○	○	×	○	TIFF (G3_MH)	マルチページが可能
○	○	×	○	TIFF (G3_MR)	マルチページが可能
○	○	×	○	TIFF (G4)	マルチページが可能
○	○	○	○	TIFF (LZW)	マルチページが可能
○	×	○	×	TIFF (JPEG: 低品質)	フルカラーのみ
○	×	○	×	TIFF (JPEG: 中品質)	フルカラーのみ
○	×	○	×	TIFF (JPEG: 高品質)	フルカラーのみ
○	×	○	×	TIFF (JPEG: imaging 低品質)	フルカラー (Windows/Imaging 専用)
○	×	○	×	TIFF (JPEG: imaging 中品質)	フルカラー (Windows/Imaging 専用)
○	×	○	×	TIFF (JPEG: imaging 高品質)	フルカラー (Windows/Imaging 専用)
○	○	○	○	XWD (非圧縮)	
○	○	○	○	NON (非圧縮)	マルチページが可能 (モノクロのみ)

制 限 事 項

- ☆Adobe Reader を利用した変換につきましては、サーバーでの利用は出来ません。
- ☆多重起動(本アプリケーションを同時に複数実行)する事は出来ません。
- ☆本アプリケーションはログインされた状態で使用して下さい。
スケジュール等により、ログオフ状態でも時間設定で実行が開始されますが、正常に動作出来ません。
- ☆変換対象のファイルに関連付けされているアプリケーションから、直接 任意の KDdriver_long に正常に印刷を行う事が可能である必要があります。印刷エラーやシステムダウンが発生する場合は、対応出来ません。
例) ABC.DOC を Microsoft WORD アプリケーションで OPEN し KDdriver_long に印刷しエラーまたはシステムダウンが発生する場合、本アプリケーションで変換を行っても、正常に変換出来ない為対応出来ません。
- ☆DTP2RSL は変換対象となるファイルに関連付けされたアプリケーションの印刷機能を利用して変換を行います。
ご利用になられる環境にて各アプリケーションの印刷機能が正常に動作することが前提条件になります。
- ☆DTP2RSL が異常終了した場合には、属性ファイル(drv_in.ini)の内容が変わっている可能性がありますので再度実行する場合はファイルの内容を確認して下さい。
また、アプリケーションがタスク上に残っている場合はタスクマネージャ等で終了させて下さい。
※タスク上に残る可能性のある、関連アプリケーション
 - ・ infoProc.exe
 - ・ ProcTimerKill.exe
- ☆本アプリケーションは弊社製品、KDprintdrv_batch、KDdrvbatchc、KDdriver for Windows を使用しています。
ご使用の際には、KDprintdrv_batch、KD Driver の注意事項もご一読下さい。
- ☆PDF データの中に線幅ゼロ(極細線)がある場合はラスター変換すると線幅=0 として扱い線が消えてしまいます。プリンタ出力や Acrobat での表示では線幅がゼロでも線分は最小線幅として扱い消えないで印刷されたり表示されたりします。
- ☆Acrobat5.0 以降を使用している時、PDF をラスター変換すると Acrobat が起動されたままの状態になりますので手動で終了して下さい。
- ☆変換する文書ファイルにマクロ機能やパスワードの入力等で何らかのダイアログが表示される場合には、変換処理が止まる場合があります。
ダイアログを手動で対処するかマクロを削除して再起動してください。
- ☆サービス上で起動するとプリンタの権限が与えられていない為、本アプリケーションは用紙サイズの切り換えを行うことが出来ませんので、設定されている規定値の用紙サイズでしか出力することが出来ません。
- ☆PDF データにセキュリティ設定をされていると変換する事が出来ません。
- ☆インストールマシン以外のネットワーク上のマシンからのリモート呼び出しでは変換出来ません。
- ☆Acrobat Reader では「-QS」オプションや用紙サイズ判定、用紙回転は利用出来ません。
- ☆属性ファイルで GRAPHIC=1 を指定した場合や、FAX ドライバに変換する場合に変換対象ファイルに関連付けられたアプリケーションが開き処理が止まってしまう場合があります、その場合には KDprintdrv_batch の操作説明書の「7. 処理中に止まった場合の対処方法」を参照し対応して下さい。
- ☆html や xml ファイルを変換する際に背景として設定している画像が変換されません。
関連付けされているブラウザの印刷機能を使用して印刷を行う為、ブラウザへの表示はされていても出力されない場合もあります。また、指定しているファイルに印刷アクションが設定されて無ければ変換することは出来ません。
「エクスプローラで変換したいファイルを選択し、右ボタンで表示されるポップアップメニューに印刷の項目が存在する事が前提です」
- ☆PDF ファイルを変換する際に SDK を使用して変換を行うと電子署名のデータは変換出来ません。
- ☆属性ファイルで指定する拡張子と標準入力ファイルのファイル形式が異なる場合、正常に処理する事が出来ませんのでご注意ください。
- ☆シングルページでの標準出力を行った場合、先頭の 1 ページのみが標準出力されます。
- ☆Visio2003 ファイルを変換する際、正常に変換出来ない場合があります。
正常に印刷出来ない場合は、一度 Visio ファイルを開き「ファイル」メニュー「印刷」で印刷ダイアログを表示し、プリンタの「プロパティ」「詳細設定」の設定を行ってから、再度変換を行って下さい。

- ☆PDF ファイルの用紙サイズを反映して変換する場合や、XDW ファイルを変換する場合、全ページをテンポラリに1ページ毎にファイル分割して変換を行いますので、ページ数の多いデータを変換する場合には、テンポラリの空き領域に注意をして下さい。
- ☆PDF において、16384 画素以上のデータの出力を行う場合、Acrobat7.0 以降でない場合 Acrobat 側の制約で、特定の画素以上のデータがすべて白紙となります。また、Windows2000 以前の Windows においても、同様に白紙となります。
- ☆SDK を使用しない変換、Acrobat の印刷設定で「PDF のページサイズに合わせて用紙選択」等、Acrobat 側で用紙サイズを正しく判断出来ない場合があります、システムダウンする場合があります。
- ☆MS-OFFICE のファイル変換する文書ファイルの対象となるアプリケーションは終了させてください。
- ☆指定されたフォルダ内に変換後の出力ファイル名と同じファイル名のファイルがある場合は KDdriver_long for Windows の設定に依存して変換されます。
- ☆MS-OFFICE のファイルを変換中に処理が途中で異常終了した場合には、KDdriver_long の設定内容が変更されていますので、再実行する前には、必ず、KDdriver_long の設定内容を確認してください。また、MS-OFFICE のアプリケーションがタスクマネージャ上に残っている場合は終了させてください。
- ☆MS-POWERPOINT のアプリケーションの初期表示をフルスクリーンすると変換時にアプリケーションが画面上に表示されますのでフルスクリーンの設定をオフにしてください。
- ☆変換する文書ファイルがインストールされている MS-OFFICE のバージョンが異なる場合は、上位のバージョンの MS-OFFICE をインストールしてください。但し、バージョンの違いによりで正常に変換されない場合もありますので注意してください。
- ☆MS-OFFICE のアプリケーション上で発生したエラーについては対応していません。タスクマネージャから処理を中止してください。
- ☆データの存在しないファイル(空のファイル)を変換する事はできません。
- ☆MS-WORD のファイルは、保存されているレイアウト(印刷レイアウト/アウトライン等)で変換されます。
- ☆ファイル属性のアーカイブ情報の設定がされていない場合には変換されません。
- ☆本アプリケーションを起動中に、新たに MS-OFFICE を起動することはできません。起動した場合には、エラーになる場合があります。
- ☆変換(印刷)中に処理を途中でキャンセルする事はできません。また、変換(印刷)中には、他のオペレーション等は行わないでください。エラーが発生する場合があります。
- ☆Windows の OS を長時間(数ヶ月単位)再起動せずに使用すると環境により Windows の動作が不安定になる場合があります。これは、弊社アプリケーションのみの問題ではなく、Windows を含む、利用される全てのソフト・ドライバの複合要因であり発生した場合、原因の特定及び回避は全てのアプリケーションが関係している関係で、現状では不可能です。長期間連続運用を行う場合、上記の問題が発生する事がありますので、定期的な Windows 再起動を奨励いたします。